

会員各位

2026年5月吉日

**2026年度熊薬東京バッテン会総会・研修認定対象研修会「大江戸教室」**

熊薬東京バッテン会会長 中上博秋

青葉の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、2026年度熊薬東京バッテン会総会・研修認定対象研修会「大江戸教室」並びに懇親会を下記の要領で開催することになりました。

今回の研修会には、現在熊本大学病院薬剤部教授 薬剤部長としてご活躍中の城野博史先生（平成10年卒）を講師としてお招きし、ご講演頂くことになっております。先生は、「患者中心の医療」の実現に向け、医薬品の適正使用・安全管理を医療現場の第一線で推進されるとともに、医薬品特性と生体情報について薬物動態学、薬剤学、薬理学並びに分子生物学的な手法を駆使して解析し、薬物療法の最適化に貢献することを目的として、熊本大学病院の診療科だけでなく、他医療機関とも連携した共同研究を精力的に展開されておられます。これまでのご経験を踏まえ、研究・教育のことから大学病院薬剤部の業務の話まで幅広い話題についてお話しいただけるものと期待しております。また、薬学部長の香月先生より熊薬情報のご紹介があります。

今回、懇親会の冒頭、バッテン会ではくまモンが5度目の登壇となります。多くの会員の皆様に奮ってご参加戴き、世代を超えて交流を深めて頂ければ幸いです。

**記**

1. **開催日時**： 2026年7月12日(日)10:00 ～ 15:00（受付は9:30より）
2. **開催場所**： ミーティングスペース AP 浜松町  
東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビル B 館 B1F
3. **参加費**： 当日会場受付にて申し受けます。  
10,000 円(研修会のみ参加:4,000 円、懇親会のみ参加:6,000 円)
4. **参加申し込み**： メール案内への返信又は返信用葉書にて6月12日(金)までに出席をご連絡下さい。
5. **日本薬剤師研修センターの薬剤師研修・認定電子システム(PECS)による認定研修薬剤師の単位取得**： 今回の研修会(WEB での同時配信はいたしません)では1単位の取得が可能です。参加者のうち単位取得希望者は PECS による事前の個人登録と登録された方の本人確認票(QR コード)の持参が欠かせませんので、QR コードを必ずご持参ください。

## 6. 式次第

(1)熊薬東京バツテン会総会 10:00～10:20 Room D + Room E

- 1) 会長挨拶 会長 中上 博秋(昭和48年卒)
- 2) 物故者への黙禱
- 3) 来賓ご挨拶 熊薬同窓会会長 入江 徹美 先生(昭和53年卒)
- 4) 令和6年度事業報告 会長 中上 博秋(昭和48年卒)  
令和7年度事業計画
- 5) 会計報告 会計 堤 泰寛(平成7年卒)  
会計監事 松本 光正(昭和58年卒)

(2)熊薬情報 10:20～10:50 熊本大学薬学部教授・学部長 香月 博志 先生

(3)研修認定対象研修会「大江戸教室」 10:50～12:20

座長：慶應大学薬学部 薬効解析学講座 教授 松元 一明 先生(平成10年卒)

演題：『熊本大学病院薬剤部が実践する臨床ニーズ駆動型研究』

熊本大学病院薬剤部 教授・薬剤部長 城野 博史 先生(平成10年卒)

(4)懇親会 12:30～15:00 (受付は12:00より) Room A

1) くまモンタイム:12:30～13:00

来賓ご挨拶 熊本県東京事務所 田口 雄一 所長

2) 乾杯のご挨拶・ご発声 熊本大学薬学部教授・学部長 香月 博志 先生

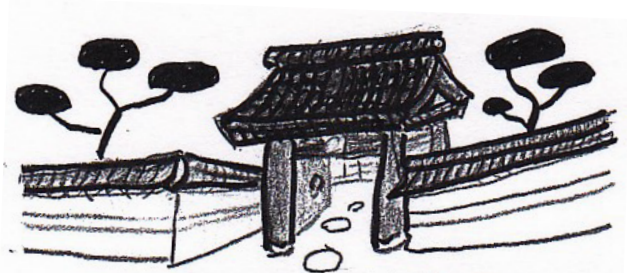
3) 来賓ご挨拶 熊本市東京事務所 西山 茂宏 所長

4) バツテン会活動情報 常任幹事 矢野 秀樹(平成8年卒)

5) 武夫原頭に草萌えて 副幹事長 本田 俊哉(昭和56年卒)

6) 年長者／年少者自己紹介・万歳三唱

7) 閉会の辞 幹事長 永里 敏秋(昭和56年卒)



熊本大薬 東京バツテン会大江戸教室



## 【講演要旨】

### 「熊本大学病院薬剤部が実践する臨床ニーズ駆動型研究」

城野 博史

(熊本大学病院薬剤部 教授・薬剤部長

熊本大学大学院薬学教育部 臨床薬物動態学分野 教授)

薬物治療は、先端科学の目覚ましい進歩・技術革新と共に常に進化・発展を続けています。多様な臨床ニーズを満たすため、革新的な創薬モダリティを用いた医薬品開発が進みつつある一方、実臨床の最前線においては、従来の知識や医療技術、限られた臨床エビデンスだけでは解決できない症例もいまだ多く存在しています。このような医療の急速な進歩や多様化の中、多岐にわたる医療ニーズを解決するためには、従来の枠組みを超えた分野横断的な研究基盤の充実・強化、その臨床応用がこれまで以上に重要な役割を担うことは間違いありません。

薬学は、生命科学、医学、薬学、有機合成物理化学、分析学、臨床化学等の全てが揃う唯一の複合領域です。中でも、医療薬学は、疾病治療および健康維持への貢献を第一の目標とし、医薬品の創製、開発、評価、適正使用など、医療の向上に直接関わる領域横断的な研究を推進することで、医薬品の関わる様々な分野で未来の医療を革新し、社会に貢献できる可能性を秘めています。本講演では、熊本大学病院薬剤部で実践している、多様な医療ニーズの解決を企図した医療薬学研究的事例を紹介し、実臨床への応用を目指した医療薬学研究的意義、高度な専門能力や研究能力を併せ持つ“Pharmacist-Scientist”の重要性について考えるきっかけとなれば幸いです。



この案内状の挿絵は昭和30年卒の平野 豪さんに描いて頂きました。

## 【講師プロフィール】

氏名（ふりがな）	城野 博史（じょうの ひろふみ）
勤務先・現職	熊本大学病院薬剤部 教授・薬剤部長 熊本大学大学院薬学教育部 臨床薬物動態学分野 教授
略 歴	1998年3月31日 熊本大学薬学部 薬学科 卒業 2000年3月31日 熊本大学大学院 薬学研究科 博士前期課程 修了 （修士薬学） 2000年10月24日 南カリフォルニア大学 House ear Institute 細胞分子生物学分野・実験助手 2003年3月31日 熊本大学大学院 薬学研究科 博士後期課程 修了 （博士薬学） 2003年4月1日 南カリフォルニア大学 House ear Institute 細胞分子生物学分野・博士研究員 2005年10月16日 NY州 ロチェスター大学 医療センター 微生物学 免疫学講座・博士研究員 2007年3月1日 NY州 ロチェスター大学 医療センター 微生物学 免疫学講座・講師 2008年1月1日 熊本大学大学院 医学薬学研究部 病態情報解析学分野（中央検査部）・講師 2012年4月1日 熊本大学医学部附属病院 薬剤部・准教授 2018年4月1日 熊本大学病院 薬剤部・准教授・副部長 臨床試験支援センター・副センター長（兼任） 2025年4月1日 熊本大学病院 薬剤部・教授・薬剤部長 現在に至る
学会活動等	日本医療薬学会（理事・代議員） 日本病院薬剤師会（理事・代議員） 日本臨床化学会（常務理事） TDM品質管理機構（理事） 熊本県病院薬剤師会（副会長・理事） 日本薬理学会（学術評議員） 日本TDM学会（評議員） 日本薬学会 医療薬科学部会（常任世話人） 日本薬学教育学会（評議員） 日本口腔ケア学会（評議委員） 九州遺伝子診断研究会（世話人） 日本臨床検査医学会 シクロデキストリン学会 日本臨床腫瘍薬学会 日本臨床薬理学会 国際アミロイドーシス学会 日本臨床救急医学会

## ミーティングスペース AP 浜松町へのアクセス



〒105-0011

東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビル B館 B1F

- 都営地下鉄大江戸線/浅草線「大門駅」より徒歩3分
- JR線・東京モノレール「浜松町駅」より徒歩7分

### 【今後のご案内について】

郵送料節約の為、E-mail でののご案内、ホームページへの掲載を行っております。

可能であれば、資料添付が可能な皆様のご都合の良いメールアドレスを事務局宛にご連絡下さい。

尚、ホームページでは種々の行事を掲載しております。薬剤師募集の案内も掲載しております。是非ホームページをご覧ください、活用をお願い申し上げます。

熊薬東京バツテン会事務局メールアドレス : ask2@kumayaku-tb.ne.jp

熊薬東京バツテン会ホームページ URL : <http://www.kumayaku-tb.ne.jp>